

「常磐大学国際被害者学研究所」開設記念シンポジウム

被害者のための正義とは

「被害者のための正義は日本においてどう実現されるべきか」

決して“ひと事”では済まされなくなった様々な犯罪と事件。
被害者の権利が未だ確立していない日本で、
これからの被害者支援には何が求められているのか。
また海外の被害者支援はどう進んでいるのか。
いろいろな場面で実際に闘ってきた遺族、
被害者研究と支援現場の先端で活動する研究者、
弁護士を招き、被害者の権利とは何か、
そして被害者のための正義とは何かについて、ともに考えます。

— プログラム —

すべてに同時通訳が付きまします。

11:00～11:30 開会式

11:40～12:20 基調講演

講師：岡村 勲氏

(全国犯罪被害者の会代表幹事・弁護士)

13:30～16:30 パネルディスカッション

(パネリスト)

・アービン・ワーラー教授

(カナダ・オタワ大学教授、1985年の国連被害者人権宣言採択に貢献、その実現に向けて各国政府に働きかけている)

・マリーン・ヤング氏

(全米被害者援助機構事務局長、世界被害者学会会長、過去30年間に各種の被害者援助プログラムを開発し、世界の被害者支援を指導)

・ゲルト・キルヒホッフ教授

(元ドイツ・ノルドライン大学教授、世界被害者学会の創立に関わり、長年事務局長を務めた。今秋、本学教授に就任)

・垣添 誠雄氏

(兵庫被害者支援センター理事・弁護士、大坂池田小事件遺族支援弁護団長)

・本村 洋氏 (山口県光市母子殺人事件のご遺族)

・猪野憲一・京子氏

(桶川ストーカー殺人事件のご遺族)

(コーディネーター)

・諸澤 英道 (常磐学園理事長、常磐大学教授)

※その他、フロア発言者として数名の外国人研究者のほか、いろいろな事件の被害者や遺族が参加します。

2003年10月2日(木)

11:00～16:30 受付 10:00～

参加費 ● 無 料

場 所 ● 常磐大学H棟大講義室
水戸市見和1-430-1

※アクセスは裏面をご参照ください。

★参加ご希望の方は、9月29日までに氏名、住所、ご連絡先明記の上、電話、ファックスまたはメールにて下記までお申し込みください。

お申込先：常磐大学国際被害者学研究所

水戸市見和1-430-1

TEL:029.232.2865 FAX:029.232.2522

e-mail:tivi@tokiwa.ac.jp

お問合先：TEL:029.232.2865 (担当:中村、坂場)

主催：常磐大学